

## 会議要録

会 議 名	第1回 小中学生国内イングリッシュ・キャンプ事業業務委託 事業候補者選考委員会
開催日時	令和2年9月14日(月曜日)午前9時 00 分から10時 00 分まで
開催場所	区役所 7 階 教育委員会室
委 員	(出席者)福井正仁委員、小林千春委員、松浦正和委員 湯川康生委員、篠崎玲子委員  (欠席者)なし
事務局	守屋友紀(指導主事)、増岡文也(教育支援係)
傍聴者	なし
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 選考委員委嘱</li> <li>3 選考委員紹介</li> <li>4 委員長選出</li> <li>5 副委員長選出</li> <li>6 審議事項 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 選考日程について</li> <li>(2) 募集要項及び選考方法について</li> <li>(3) 審査基準について</li> </ol> </li> <li>7 その他</li> <li>8 次回の日程等について</li> <li>9 閉会</li> </ol>
配付資料	<p>[席上配付]</p> <p>次第</p> <p>資料 1 小中学生国内イングリッシュ・キャンプ事業業務委託事業候補者選考委員会設置要綱</p> <p>資料 2 小中学生国内イングリッシュ・キャンプ事業業務委託事業候補者選考委員会委員名簿</p> <p>資料 3 小中学生国内イングリッシュ・キャンプ事業業務委託事業候補者選考委員会選考日程(案)</p> <p>資料 4 小中学生国内イングリッシュ・キャンプ事業業務委託事業候補者募集要項(案)</p> <p>資料 5 小中学生国内イングリッシュ・キャンプ事業業務委託事業候補者の選考方法(案)</p> <p>資料 6 小中学生国内イングリッシュ・キャンプ事業業務委託事業候補者の選定基準</p> <p>資料 6-1 小中学生国内イングリッシュ・キャンプ事業業務委託事業候補者審査基準「一次審査」採点表(案)</p> <p>資料 6-2 小中学生国内イングリッシュ・キャンプ事業業務委託事業候補者審査基準「二次審査」採点表(案)</p>

## 会議の結果及び主要な発言

## 1 開会

## 2 選考委員委嘱

## 3 選考委員紹介

## 4 委員長選出

互選により、委員長は福井委員を選出した。

## 5 副委員長選出

委員長の指名により、副委員長には湯川委員を選出した。

## 6 審議事項

## (1)選考日程について

(事務局説明)

質疑なし

## (2)募集要項及び選考方法について

(事務局説明)

委員 I 仕様書は参加事業者に配布されるものか。

事務局 配布されます。

委員 I 旅行業務についてはよくわかるが、教育的業務については不明瞭な点がある。(ホームステイの期間や、留学生の選定基準など)

事務局 仕様書に盛り込むよう追記する。

委員 IV 留学生が現地に行くまでの費用も事業費の一部となる認識で大丈夫か大丈夫です。

委員 III 留学生の確保が確実なのかは把握したほうがよい。

委員 II 緊急性がありかつ、専門性のある業務であることから留学生の確保については把握できるようにしておくこと。

委員 II この事業自体、緊急性が高いがために、事業候補者が 1 者しか来ないことも想定されるがその場合の審査の点数は6割で設定してよろしいか。

委員 IV 事業者にとってもタイトなスケジュールで行うので 6 割が妥当と考える。

## (3)審査基準について

(事務局説明)

委員 V 見積額の採点基準について、通常は安ければ評価が高くなると思うが、事務局が決めた範囲額であれば 5 点満点というのは、実際に児童・生徒が関わることなので安かれ悪かれにならないための評価基準ということで大丈夫か。

事務局 委員の認識のとおりです。

委員 II 現在の評価では、事業規模額の80%~100%であれば 5 点であり、事業規模額を上回る、または下回る場合には0点とすることになっているが、下回る場合に0点とするのはどうなのか。

委員 IV 事業者の努力として、事業規模額の80%を下回った場合には1点から4点のように傾斜をつけて採点を付けたほうが良いと思う。

<p>事務局</p>	<p>事業規模額を超えた場合には0点、事業規模額の80%~100%の場合には 5点、80%を下回る場合には0点にはせずに傾斜をつけて採点するように修正する。</p> <p>7 その他</p> <p>8 次回日程の確認</p> <p>9 閉会</p>
------------	--